
CallMighty II

スタートアップガイド

変更履歴

初 版 平成26年10月16日

本書では、インストールが完了したのちに、どのようにして発信業務をスタートさせるのか一連の動作を解説いたします。

より詳しい情報は、各操作説明書をご参照ください。

TDAの接続と電話回線およびヘッドセットの接続、TDAドライバのセットアップ、DBのセットアップおよび、CallMighty2のインストールが完了していることが必要です。

【サーバー上での操作】

1. 管理プログラムの起動	5
2. テーブルの生成(リストデータの受け皿を作成します)	6
3. リストデータの取込(生成したテーブルにリストを投入します)	7
4. テーブルと業務グループの関連付け(リストの管理単位)	9
5. 業務グループから業務の割り当て(キャンペーンの管理単位)	12
6. 業務別の基本設定(電話の動作など)	15
7. 業務別の画面設定(画面項目構成)	17
8. 配信サーバーの受付環境設定	23
9. 業務別のオペレータ登録	24
10. キャンペーンデータ抽出(発信対象リスト抽出)	25
11. 配信サーバーの起動(通常はスタートアップにより常駐)	26

【クライアント上での操作】

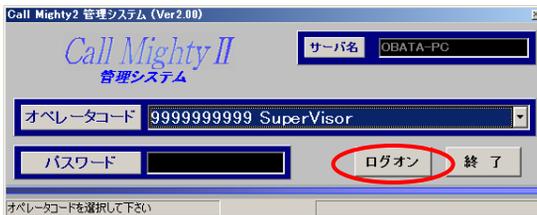
12. クライアントPCの初回セットアップ(インストール時初回のみ)	27
13. クライアントプログラムの起動(実際に電話をかけることができます。)	30

1. 管理プログラムの起動

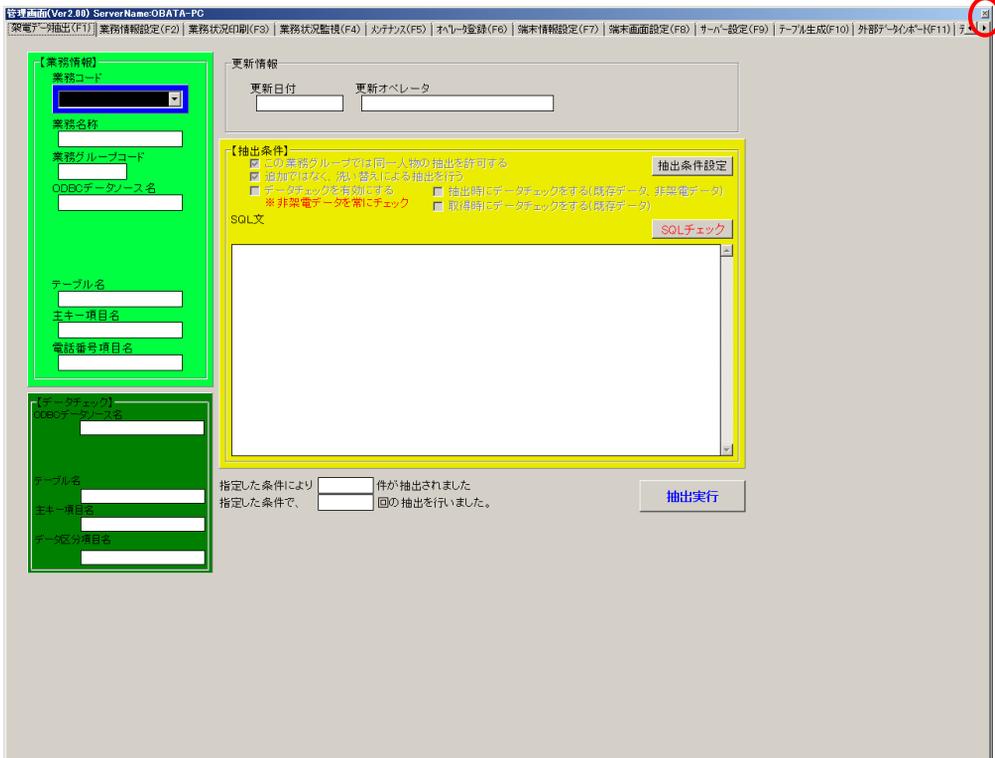
デスクトップ上の「CallMighty管理画面起動」をダブルクリックし、管理画面へのログイン画面を起動します。



ログイン画面が表示されますので、パスワードは入力せず、「ログオン」ボタンを押下します。



下記画面が表示されれば起動完了です。



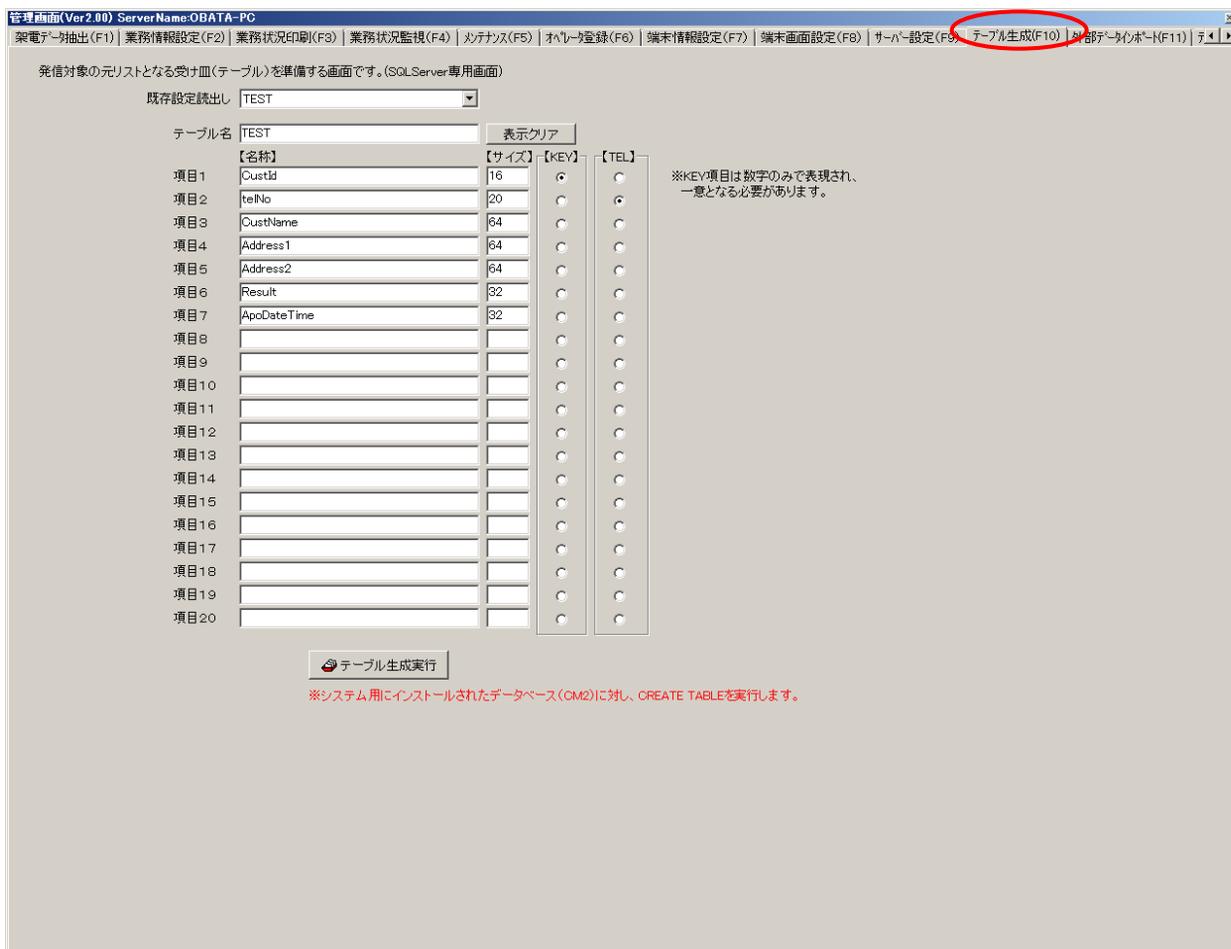
※尚、管理画面を終了する場合は、画面右上の[×]ボタンを押下することで終了処理が行われます。

2. テーブルの生成

テーブル生成タブを選択してください。

まずはじめに、リストデータを登録する受け皿(テーブル)を作成します。

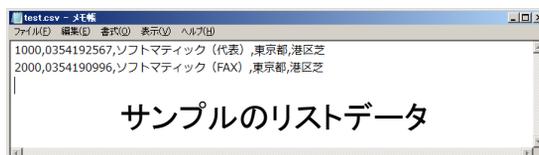
本手順では、インストール時にすでに生成されている「TEST」というテーブルを使用しますので、この手順では生成は行いません。



- ・新たなデータを受け入れる場合などは、本画面でテーブルを作成します。
- ・リストに存在する項目のほかにも、結果を記入したいケースがありますので、その項目は、実際の項目の後ろに付け加える形としてください。

たとえば、インストール時にコピーされるサンプルのリストデータ (C:\¥CallMighty2¥Bin¥Test.csv) がありますが、CustIDからAddress2までの項目しかありません。

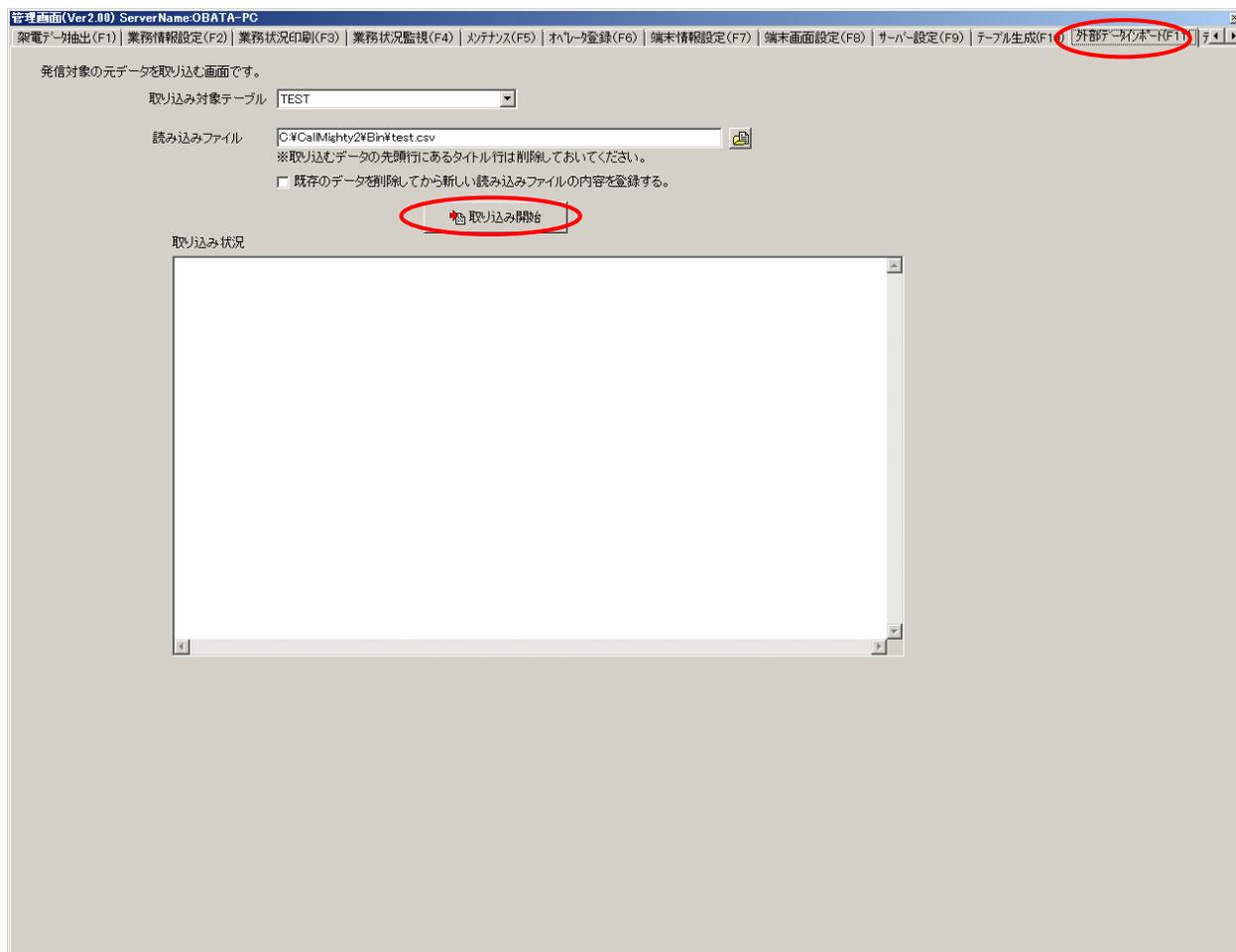
この項目に結果を記録したいため、Result、ApoDateTimeという項目を付け加えたテーブルを作成しています。



3. リストデータの取込

外部データインポートタブを選択してください。

作成したテーブルにリストを投入（インポート）します。この作業により、発信用の元リストがシステムに登録され、条件抽出により発信リストを作成することができるようになります。



【手順】

- ①取込対象テーブルで「TEST」というテーブル名を選択します。
- ②読み込みファイルは、フォルダマークから、C:\¥CallMighty2¥Bin¥Test.csvというサンプルファイルを指定します。
- ③「既存のデータを削除してから新しい読み込みファイルの内容を登録する」チェックボックスは、データを洗い替える際にチェックを付けます。
- ④準備ができましたら、「取り込み開始」ボタンを押下します。

⑤下記画面が表示されますので、OKボタンを押下します。

「既存のデータを削除してから新しい読込ファイルの内容を登録する」のチェックをつけない場合。



「既存のデータを削除してから新しい読込ファイルの内容を登録する」のチェックをつけた場合。



⑥データの取込が完了しましたら、下記画面が表示されます。

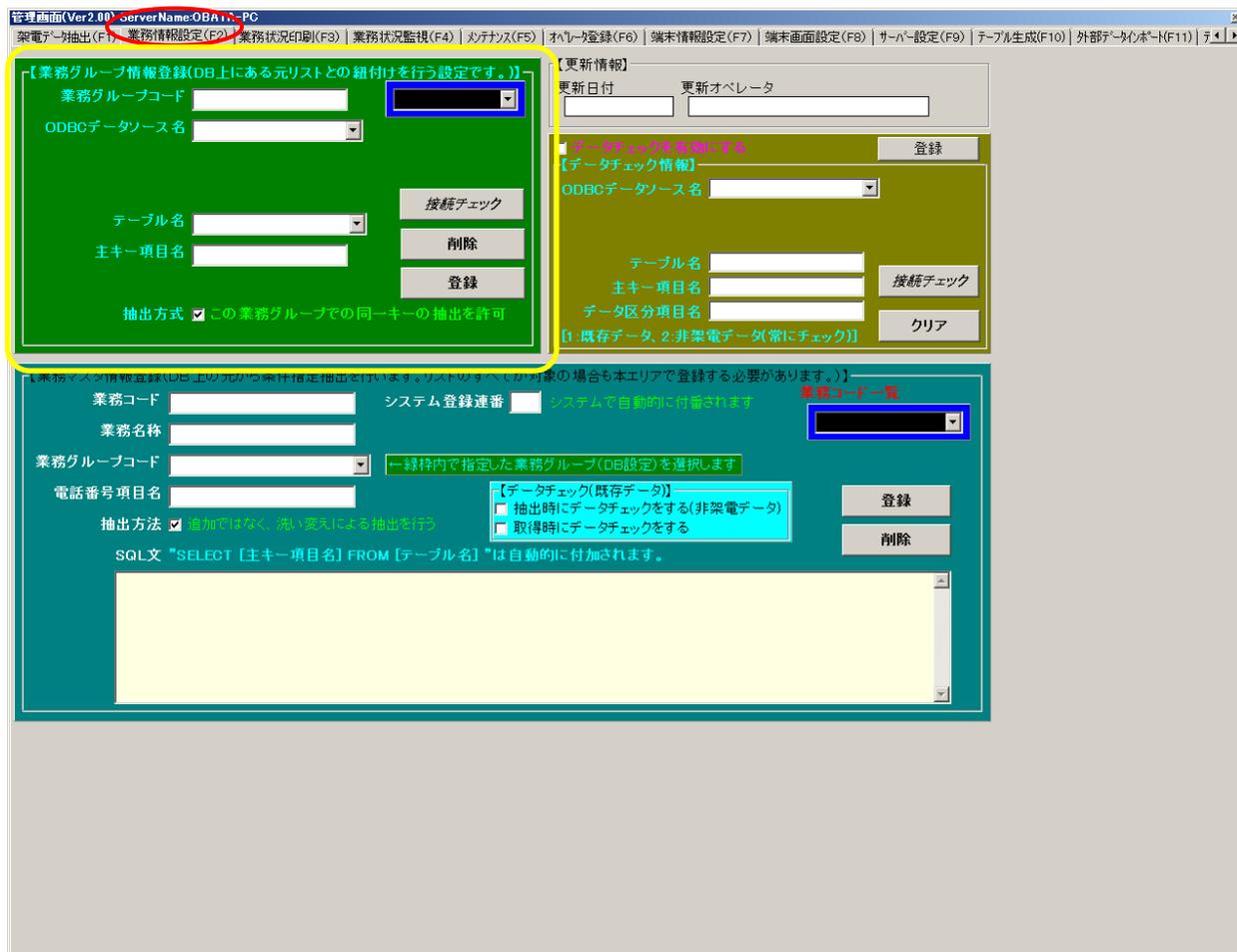
単純なIDおよび電話番号の項目およそ100万件で、環境にもよりますが3分程度の処理時間となりますので、このあたりを目安としてください。



4. テーブルと業務グループの関連付け

作成したデータベース上のテーブルとCallMighty2の業務グループを関連付けます。

業務グループ=テーブルと読み取ることができ、登録リストの管理単位は業務グループです。



ここで、簡単な関連図を示します。

- テーブル=業務グループ |— 業務A(指定条件に従って抽出されたリスト)
 |— 業務B(指定条件に従って抽出されたリスト)
 |— 業務C(指定条件に従って抽出されたリスト)

というツリーが成り立ちます。テーブルに存在するデータすべてを発信対象とする場合は、

テーブル=業務グループ = 業務(全件)

という考え方も成り立ちます。

次ページに手順を記載いたします。

【手順】

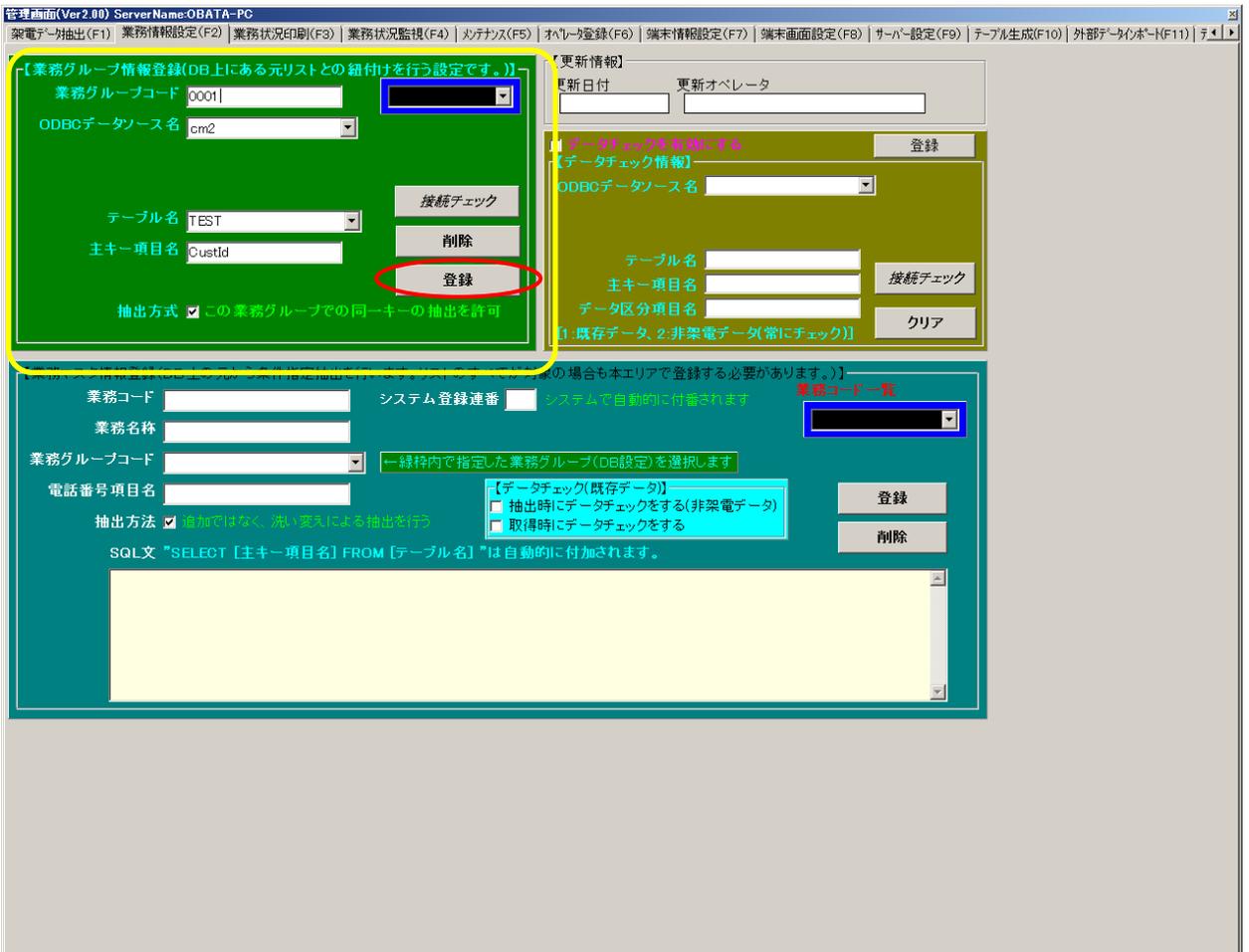
①黄色の枠内にある項目を入力し、「登録」ボタンを押下し、登録します。

業務グループコード:0001(任意、数字10桁まで)を入力します。

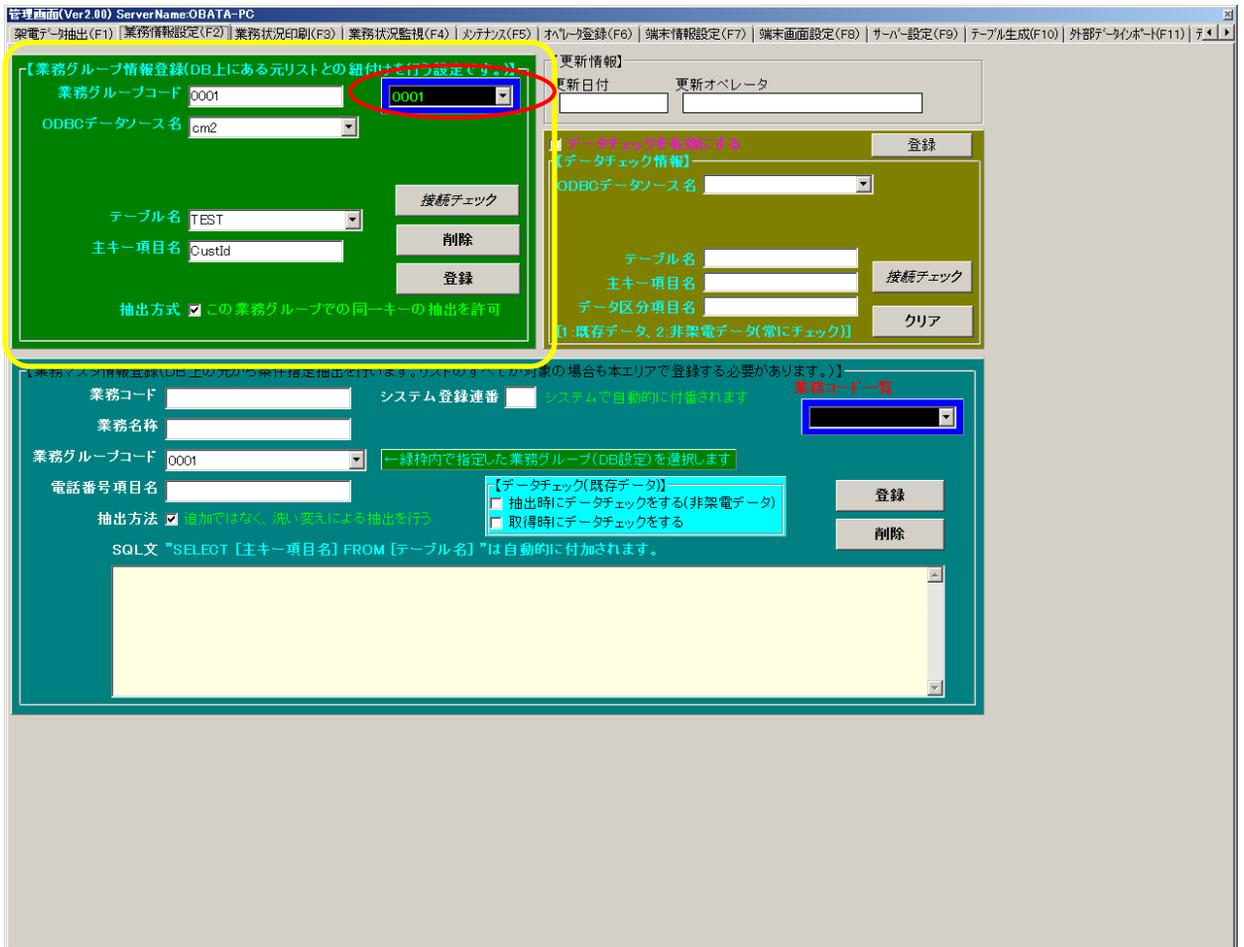
ODBCデータソース:cm2を選択します。

テーブル名:TESTを選択します。

主キー項目名:主キー項目入力欄にマウスを持っていくと、TESTテーブルで定義されている主キー情報が自動的に採用されます。



- ②登録が正常に行われると、業務グループセレクトに、指定の業務グループコードが追加されます。



- ③業務グループの関連付けは以上です。

5. 業務グループから業務の割り当て

業務グループに登録されているリストの内、どのような対象者に電話をかけるのかといった条件を指定するのが「業務の割り当て」作業です。

たとえば、業務グループに登録されているリストの中から、「東京都港区」という住所のみをターゲットとしたい場合、あるいは、業務グループに登録されているリスト全件というターゲットも可能です。

The screenshot shows a software interface with two main sections. The top section, titled '【業務グループ情報登録(DB上にある元リストとの紐付けを行う設定です。)]', includes input fields for '業務グループコード' (set to 0001), 'ODBCデータソース名' (cm2), 'テーブル名' (TEST), and '主キー項目名' (Custid). It also features buttons for '接続チェック', '削除', and '登録', along with a checkbox for '抽出方式' (checked, 'この業務グループでの同一キーの抽出を許可'). The bottom section, titled '【業務マスタ情報登録(DB上の元から条件指定抽出を行います。リストのすべてが対象の場合も本エリアで登録する必要があります。)]', includes fields for '業務コード' (1001), '業務名称' (対象リスト), '業務グループコード' (0001), and '電話番号項目名' (telNo). It has buttons for '登録' and '削除', and checkboxes for '抽出方法' (checked, '追加ではなく、古い優先による抽出を行う'). A yellow box highlights the bottom section.

次ページに手順を記載いたします。

【手順】

①黄色の枠内にある項目を入力し、「登録」ボタンを押下し、登録します。

業務コード:1001(任意、数字10桁まで)を入力します。

業務名称:わかりやすい名称を入力します。

業務グループコード:どのリストを使用するか、業務グループコードを指定します。

電話番号項目名:当該業務グループコードに割り付けられているテーブル定義で、

電話番号と指定されている項目が自動的に採用されます。

変更も可能です。

※本資料では抽出条件はこの画面では登録しません。

管理画面(Ver2.00) ServerName:OBATA-PC
 架電データ抽出(F1) | 業務情報設定(F2) | 業務状況印刷(F3) | 業務状況監視(F4) | メンテナンス(F5) | オペレータ登録(F6) | 端末情報設定(F7) | 端末画面設定(F8) | サーバ設定(F9) | テーブル生成(F10) | 外部データベース(F11) | ヘルプ

【業務グループ情報登録(DB上にある元リストとの紐付けを行う設定です。)]

業務グループコード 0001
 ODBCデータソース名 cm2

テーブル名 TEST
 主キー項目名 Custid

接続チェック
 削除
 登録

抽出方式 この業務グループでの同一キーの抽出を許可

【更新情報】

更新日付
 更新オペレータ

登録

【データチェックを有効にする】

【データチェック情報】

ODBCデータソース名

テーブル名
 主キー項目名
 データ区分項目名

接続チェック
 クリア

【業務マスタ情報登録(DB上の元から条件指定抽出を行います。リストのすべてが対象の場合も本エリアで登録する必要があります。)]

業務コード 1001 システム登録連番
 業務名称 対象リスト
 業務グループコード 0001
 電話番号項目名 telNo

抽出方法 追加ではなく、古い形式による抽出を行う

SQL文 "SELECT [主キー項目名] FROM [テーブル名]"は自動的に付加されます。

登録
 削除

- ②登録が正常に行われると、業務コード一覧セクターに、指定の業務コードが追加されます。

The screenshot shows two windows from a management application (Ver.2.00, ServerName:OBATA-PC).

Top Window: Business Group Information Registration
 Title: 【業務グループ情報登録(DB上にある元リストとの紐付けを行う設定です。)]
 Fields: 業務グループコード (0001), ODBCデータソース名 (cm2), テーブル名 (TEST), 主キー項目名 (CustId).
 Buttons: 接続チェック, 削除, 登録.
 Note: 抽出方式 この業務グループでの同一キーの抽出を許可

Bottom Window: Business Master Information Registration
 Title: 【業務マスター情報登録(DB上の元から条件指定抽出を行います。リストのすべてが対象の場合も本エリアで登録する必要があります。)]
 Fields: 業務コード (1001), 業務名称 (対象リスト), 業務グループコード (0001), 電話番号項目名 (telNo).
 Buttons: 登録, 削除.
 Note: SQL文 "SELECT [主キー項目名] FROM [テーブル名]" は自動的に付加されます。
 A red circle highlights the '業務コード' dropdown menu.

- ③業務の割り当ては以上です。

6. 業務別の基本設定

端末情報設定タブを選択してください。

作成した業務別に、主に電話の動作などを指定する画面です。特にダイヤル方式と、ダイヤル接頭辞(PREFIX)、接尾辞(SUFFIX)はご注意ください。

管理画面 (Ver 2.00) ServerName:OBATA-PC
 架電ターミナル抽出 (F1) | 業務情報設定 (F2) | 業務状況印刷 (F3) | 業務状況監視 (F4) | ルテナス (F5) | オペレータ登録 (F6) | **端末情報設定 (F7)** | 端末画面設定 (F8) | サーバ設定 (F9) | テーブル生成 (F10) | 外部ターミナル (F11) | テーブル

業務選択
 1001 対家リスト

※変更した情報を反映させる場合、サーバ配信・クライアントPGの再起動が必要です。

不出検出時間: 7コール
 割り込み回数上限 (0は無制限): 話中 不出 指定
 割り込みタイマー (1分指定): 話中 不出

モード変更の制限
 ダイヤル方式の変更を制限する
 通話録音モードの変更を制限する

ダイヤル方式: オート プレビュー 手動発信
 ダイヤル付属文字列: 接頭辞(Prefix) 接尾辞(Suffix)

通話録音モード: オート マニュアル
 通話録音フォルダ (フルパスで指定): 音声ファイル格納フォルダ名

スキップ機能
 スキップを可能とする 項目位置 埋め込みデータ

音声ファイル (フルパスで指定)
 保留音声ファイル名

	定型送出处見出し名	定型送出处音声ファイル名	既定
定形音声1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input checked="" type="radio"/>
定形音声2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="radio"/>
定形音声3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="radio"/>
定形音声4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="radio"/>
定形音声5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="radio"/>

デフォルト
登録

次ページに手順を記載いたします。

【手順】

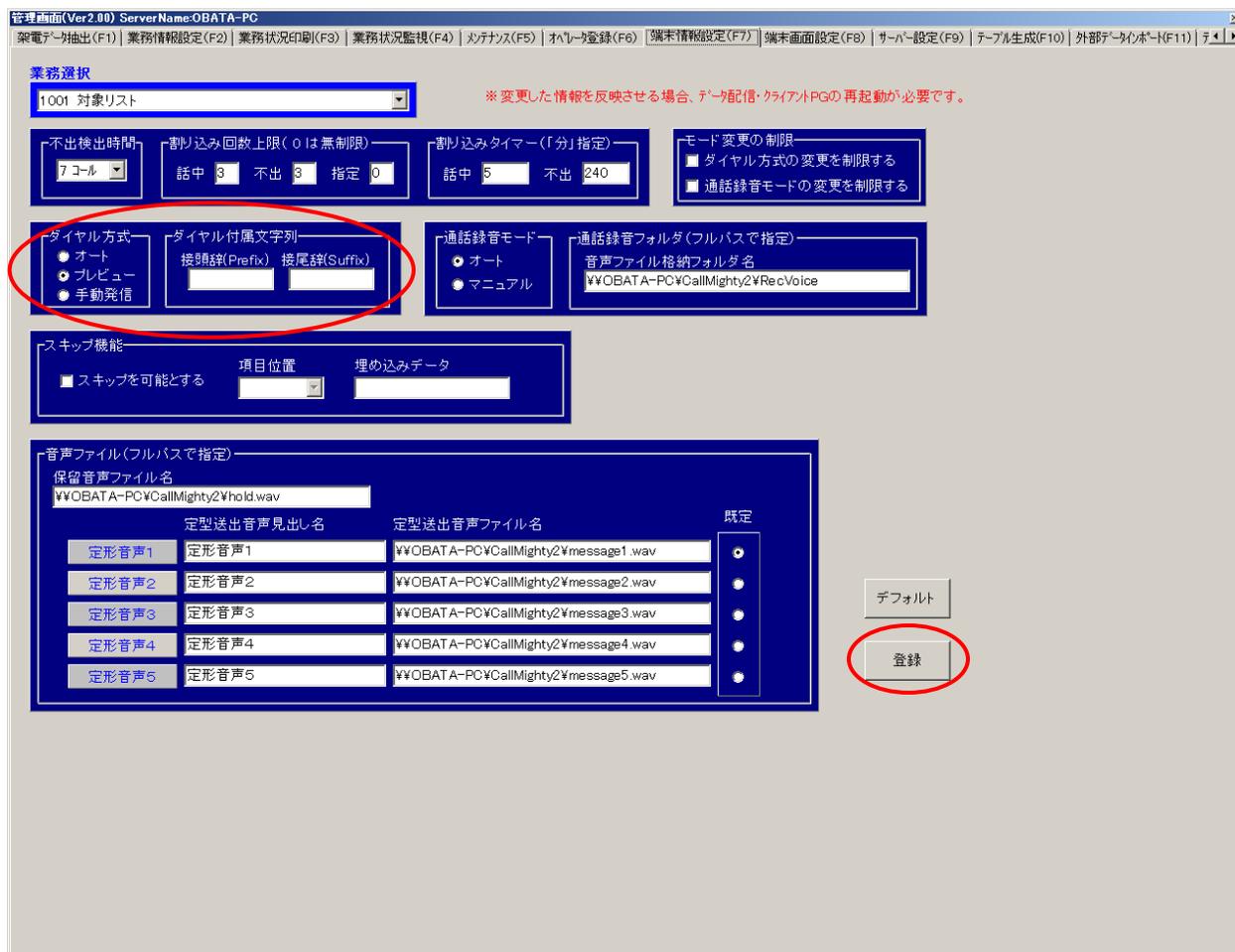
①まず簡単な設定方法として、「デフォルト」ボタンを押下し、デフォルト設定をOKしますと、標準的な内容が表示されます。



ダイヤル方式:オート(データ配信と同時にダイヤル実行)、プレビュー(データ配信後、発信ボタンでダイヤル実行)、手動発信(データ配信されず、検索のみ)を選択できます。

接頭辞(PREFIX):0発信などが必要な環境では、0を入力してください。

接尾辞(SUFFIX):#などを付け加えることで発信が始まる環境の場合、#を入力してください。

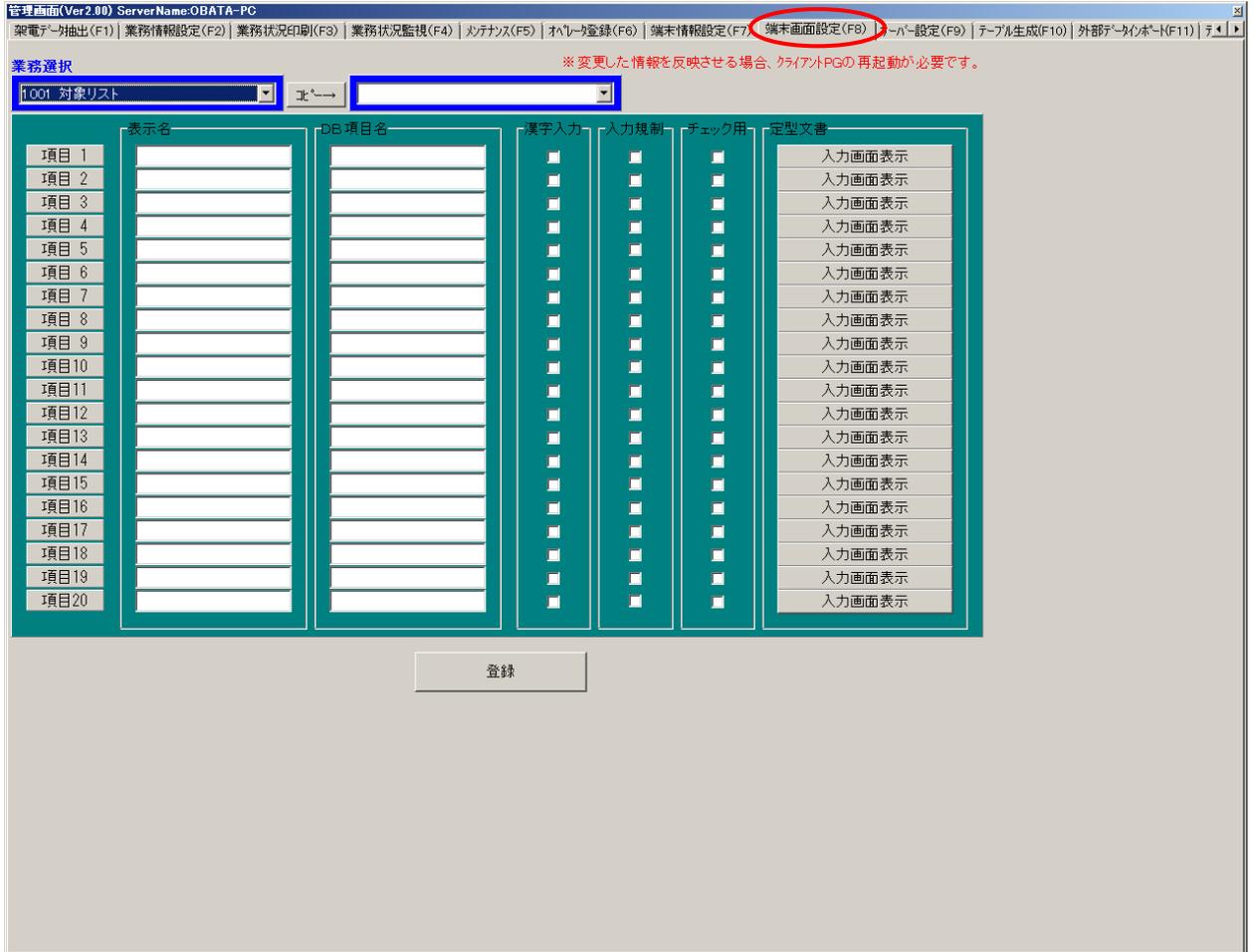


最後に登録ボタンを押下して、登録完了です。

7. 業務別の画面設定

端末画面設定タブを選択してください。

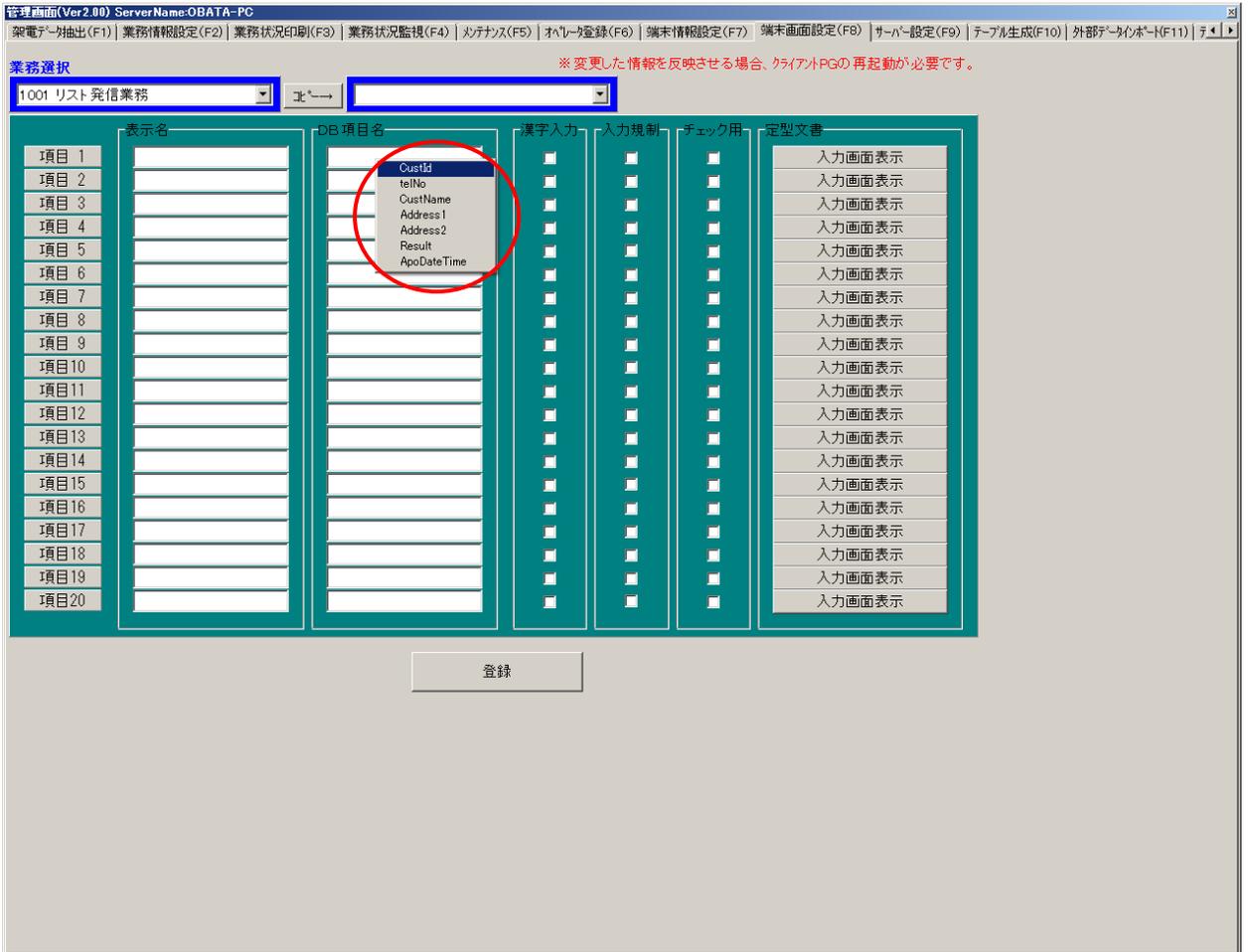
作成した業務別に、クライアント画面用の表示項目を指定することができます。



次ページに手順を記載いたします。

【手順】

- ①DB項目欄にて右クリックしますと、選択可能な項目が表示されますので、一つずつ選択して入力してください。



②表示名には、日本語名称を入力することができます。下記例のように入力を行ってください。

管理画面(Ver2.00) ServerName:OBATA-PC
 架電ターゲ抽出(F1) | 業務情報設定(F2) | 業務状況印刷(F3) | 業務状況監視(F4) | ミナナス(F5) | オペレー登録(F6) | 端末情報設定(F7) | 端末画面設定(F8) | サーバ設定(F9) | テーブル生成(F10) | 外部ターゲホト(F11) | ヘルプ

業務選択 ※変更した情報を反映させる場合、クライアントPGの再起動が必要です。

1001 リスト発信業務

項目	表示名	DB項目名	漢字入力	入力規制	チェック用	定型文書
項目 1	顧客ID	CustId	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目 2	電話番号	telNo	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目 3	顧客名	CustName	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目 4	住所1	Address1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目 5	住所2	Address2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目 6	結果	Result	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目 7	アポイント日時	AppoDateTime	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目 8			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目 9			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目10			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目11			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目12			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目13			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目14			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目15			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目16			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目17			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目18			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目19			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示
項目20			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入力画面表示

登録

③項目6の右手の入力画面表示ボタンを押下し、定型文書登録画面を表示します。

ここでは、結果入力などの定型文字を登録しておくことができます。(入力時にフリー入力もできます。)

下記黄色の枠内のように入力し、「登録」ボタンを押下してください。

管理画面(Ver2.00) ServerName:OBATA-PC
 架電データ抽出(F1) | 業務情報設定(F2) | 業務状況印刷(F3) | 業務状況監視(F4) | ルテナス(F5) | オペレータ登録(F6) | 端末情報設定(F7) | 端末画面設定(F8) | サーバ設定(F9) | テーブル生成(F10) | 外部データベース(F11) | テ...

業務選択
 1001 リスト 発信業務 [] []

項目	表示名	DB項目名	漢字入力	入力規制	チェック用	定型文書
項目 1	顧客ID	Custid	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	入力画面表示
項目 2	電話番号	telNo	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	入力画面表示
項目 3	顧客名	CustName	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	入力画面表示
項目 4	住所1		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 5	住所2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 6	結果		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 7	アポイ		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 8			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 9			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 10			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 11			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 12			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 13			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 14			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 15			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 16			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 17			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 18			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 19			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
項目 20			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

日付入力用(YYYY/MM/DD形式)
 時刻入力用(HHMM形式)
 日付時刻入力用(YYYY/MM/DD_HHMM形式)

定型文書登録「項目6」

不要
 アポイント
 資料請求

※置換キーワードを使用している場合、実際の発信画面での表示を見て正しく設定されているかを確認して下さい。

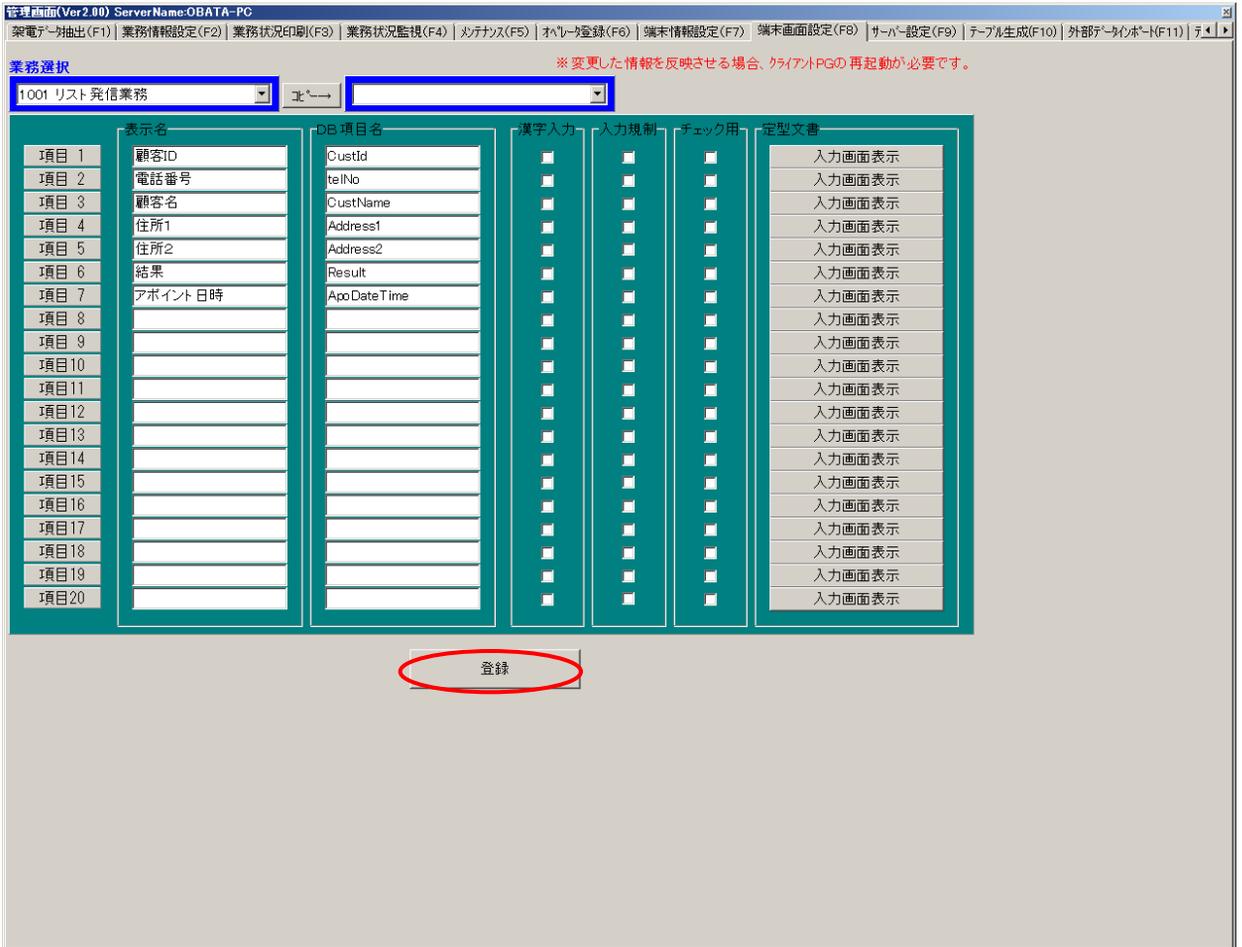
登録 閉じる

④項目7の右手の入力画面表示ボタンを押下し、定型文書登録画面を表示します。

ここでは、日付時刻入力を行うことができるよう、簡易指定コマンドボタンを押下して、「登録」ボタンを押下してください。



⑤下記の画面に戻りましたら、「登録」ボタンを押下し、画面設定を完了します。

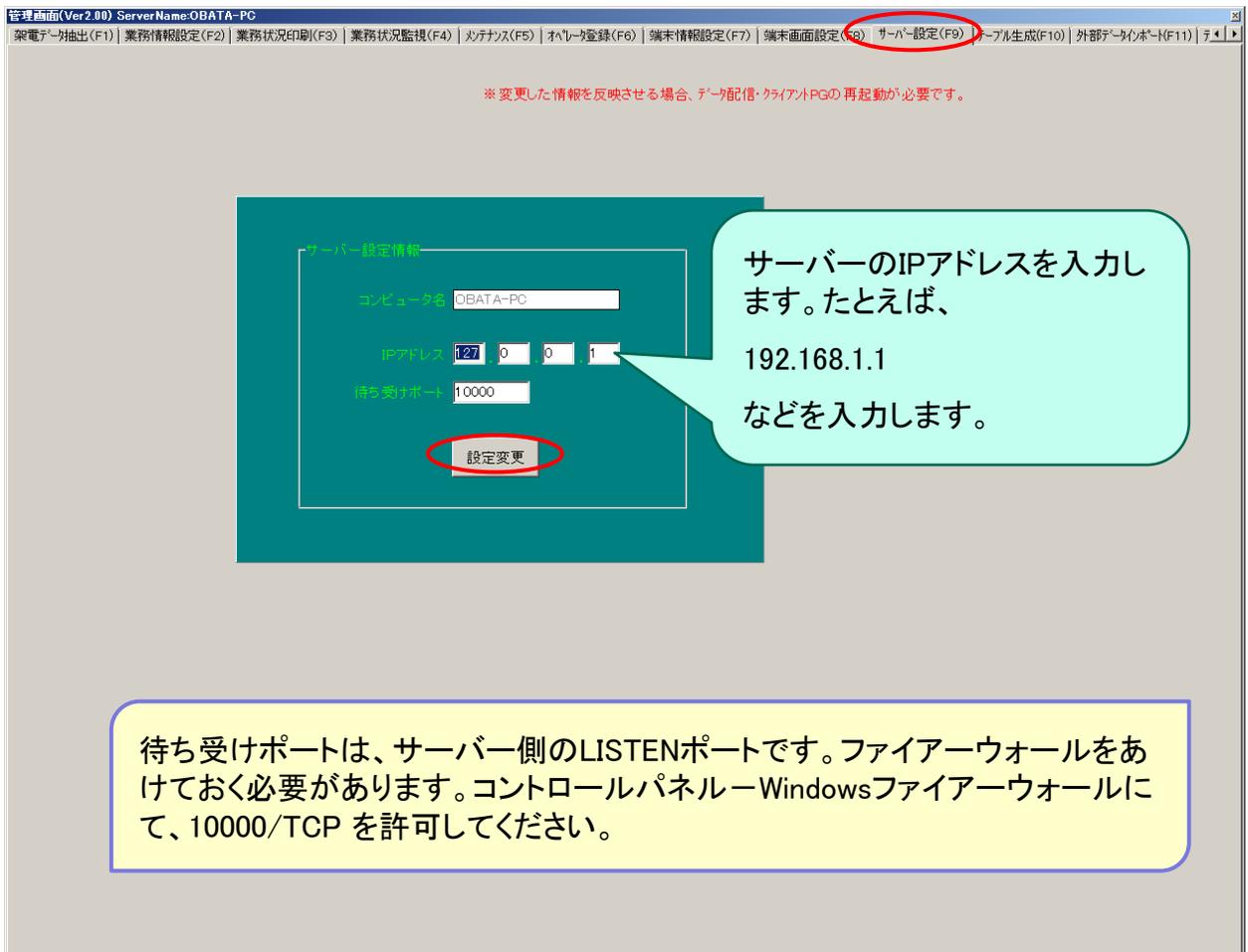


8. 配信サーバーの受付環境設定

サーバー設定タブを選択してください。

配信サーバーの所在などをシステム内で統一するため、サーバーIPアドレスを記入し、「設定変更」ボタンを押下して、情報を確定してください。

インストール直後は情報が表示されているだけです。この登録操作が必須です。



※変更した情報を反映させる場合、サーバ配信・クライアントPGの再起動が必要です。

サーバー設定情報

コンピュータ名 OBATA-PC

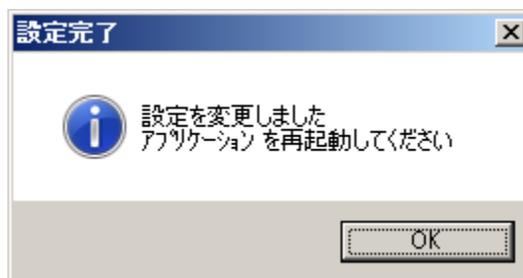
IPアドレス 127 0 0 1

待ち受けポート 10000

設定変更

サーバーのIPアドレスを入力します。たとえば、
192.168.1.1
などを入力します。

待ち受けポートは、サーバー側のLISTENポートです。ファイアウォールをあげておく必要があります。コントロールパネルーWindowsファイアウォールにて、10000/TCP を許可してください。



※この手順では再起動は不要です。

後程再起動もしくは起動しますので、「OK」を押下しておいてください。

9. 業務別のオペレータ登録

オペレータ登録タブを選択してください。

業務ごとに担当するオペレータを登録することができます。

業務ごとに分けるメリットとしては、間違った業務にログインしないようにすることなどです。

管理画面(Ver2.00) ServerName:OBATA-PC
 架電データ抽出(F1) | 業務情報設定(F2) | 業務状況印刷(F3) | 業務状況監視(F4) | メンテナンス(F5) | オペレータ登録(F6) | 端末情報設定(F7) | 端末画面設定(F8) | サーバ設定(F9) | テーブル生成(F10) | 外部データベース(F11) | ヘルプ

業務選択
 1001 リスト発信業務

※ 変更した情報を反映させる場合、クライアントPGの再起動が必要です。

オペレータ情報登録

オペレータコード
 9999999999

オペレータ名
 SuperVisor

ログオンパスワード
 1111

オペレータ付属情報
 管理者 (ビルトインアカウント)

通話機器
 0:ヘッドセット
 1:電話機

管理権限
 オペレータ
 下位管理者
 上位管理者

登録 削除

この設定を業務
 1001 リスト発信業務

に コピー する

オペレータ登録一覧

コード番号	オペレータ名	パスワード	権限付属情報1	付属情報2	付属情報3
1	1111	1111			
2	9999999999	SuperVisor	2	管理者 (ビルトインアカウント)	

ここでは、下記の指定を行い、「登録」ボタンを押下してください。

オペレータコード: 1111

オペレータ名: テスト(任意)

ログオンパスワード: 1111

10. キャンペーンデータ(業務別発信対象リスト)の抽出

架電データ抽出タブを選択してください。

この画面で、実際の業務グループに関連付けられたテーブルから、発信対象のデータを抽出し、業務用の発信リストを作成することができます。

ここで、抽出条件を都度、指定することができます。

全件抽出の場合は、そのまま「抽出実行」ボタンを押下すると、抽出が始まります。



画面上に完了メッセージが表示されるまでお待ちください。

抽出完了時には、システム内部に発信管理用のリストが作成されます。

(特に目に見えるものではありません。)

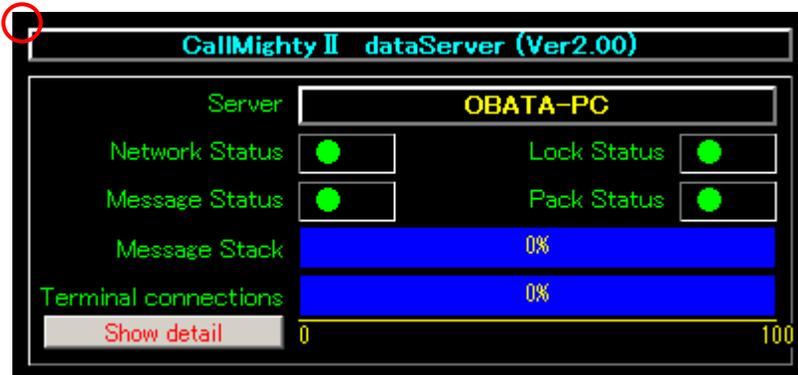
抽出が終わりましたら、画面右上の[×]ボタンによって、管理画面を終了してください。

11. 配信サーバーの起動

通常はスタートアップから起動し、常駐します。

すでに起動されている状態の場合、念のためいったん終了し、下記手順にて再起動をお願いいたします。

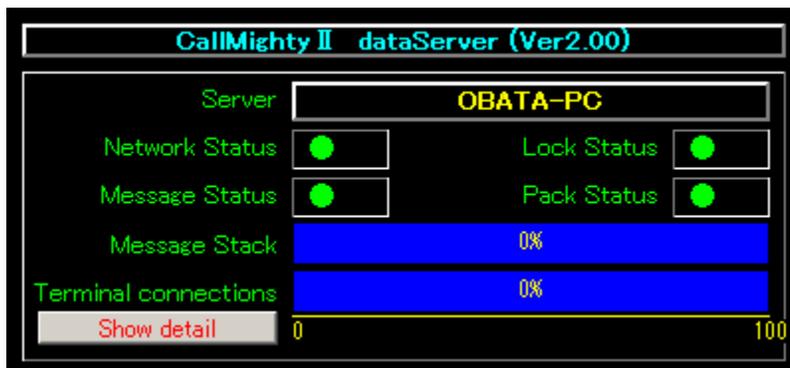
下記赤丸印内に、終了のための隠しボタンがありますので、クリックして終了してください。



デスクトップ上の「CallMightyServer起動」ショートカットをダブルクリックし起動してください。



下記画面が表示されたら終了です。

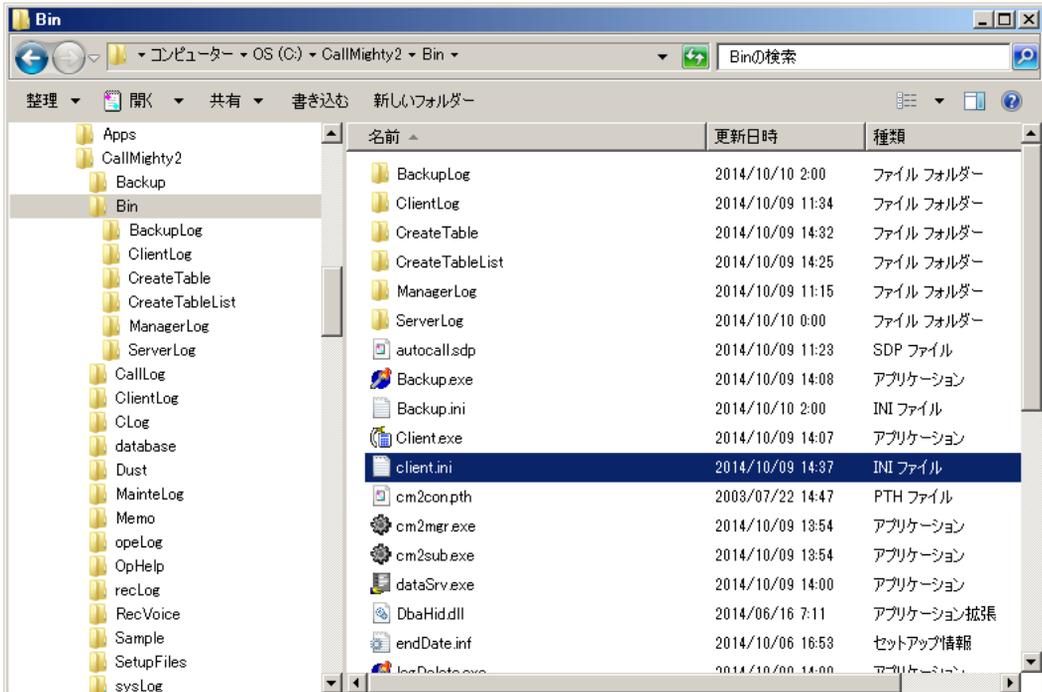


以上でサーバー上での操作を終了します。

12. クライアントPCの初回セットアップ(初期化ファイルの設定)

この操作はクライアントPCでの操作で、インストール直後初回のみです。

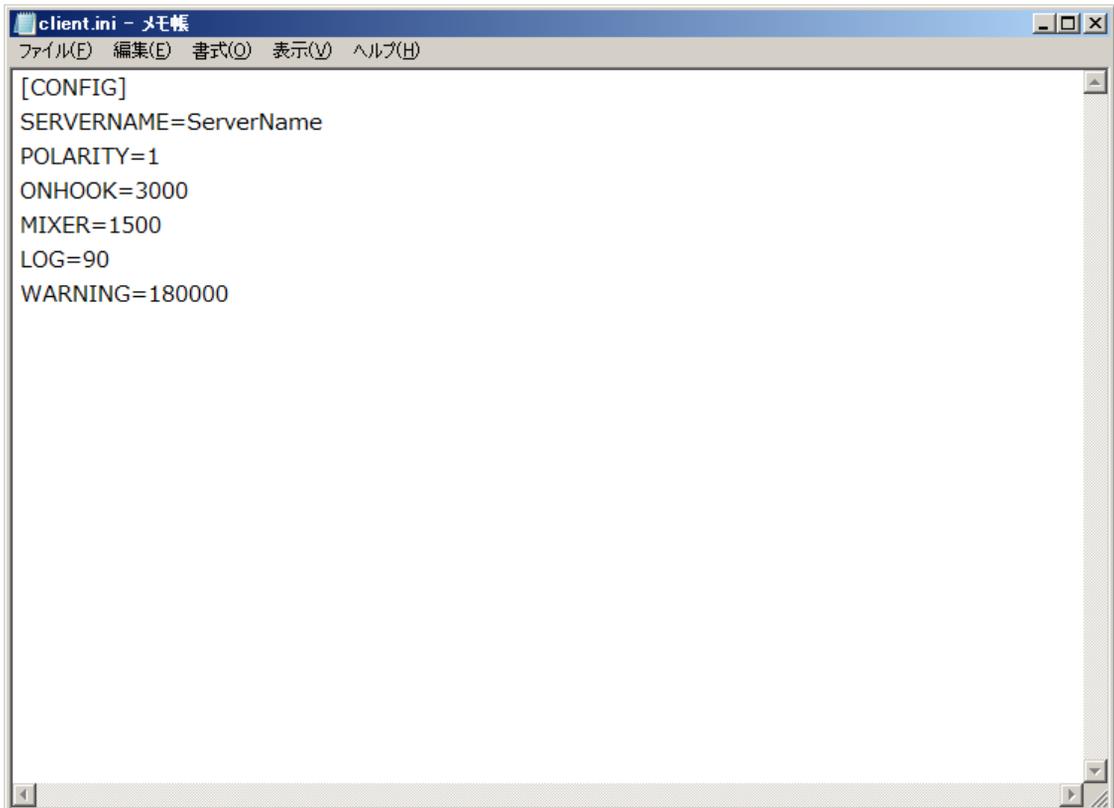
エクスプローラより、C:¥Callmighty2¥Bin配下を参照します。



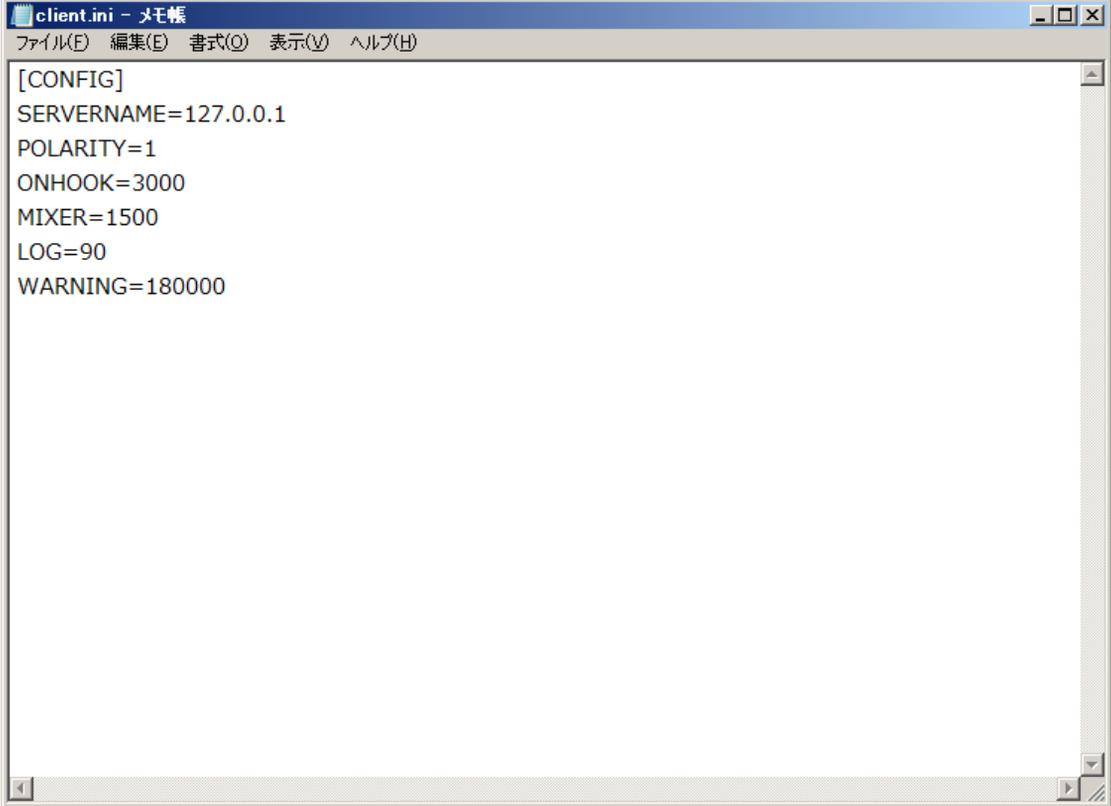
Client.iniを探し、ダブルクリックしてメモ帳などで起動してください。

下記のようにファイルが開きましたら、必要な情報を記入して、上書き保存してください。

- SERVERNAME : サーバー機のネットワーク上の名称もしくはIPアドレスを指定
- POLARITY : 電話回線の種別として極性反転が上がるタイプのものであれば、1を指定。なければ0を指定してください。
- ONHOOK : 通常は変更を行わないでください。
- MIXER : 通常は変更を行わないでください。
- LOG : クライアントのログ保存数を指定します。
ログの単位は日別ファイルですのでイメージでは90日分、
保管する指定となります。
- WARNINIG : 電話をかけていない状態が指定時間(ミリ秒)続くと、
バルーン表示となり、アイコントレイ付近に警告メッセージが
でます。電話をかけてリストを先に進めるよう催促をする
意図があります。(180000ミリ秒=180秒=3分)



たとえば、IPアドレス設定後のイメージは下記を参照ください。



The image shows a Notepad window titled "client.ini - メモ帳". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "書式(O)", "表示(V)", and "ヘルプ(H)". The text content of the file is as follows:

```
[CONFIG]
SERVERNAME=127.0.0.1
POLARITY=1
ONHOOK=3000
MIXER=1500
LOG=90
WARNING=180000
```

13. クライアントプログラムの起動

最後に、実際に電話をかけるクライアントプログラムを起動します。

起動するとメイン画面には、最初に配信されたデータが表示されます。

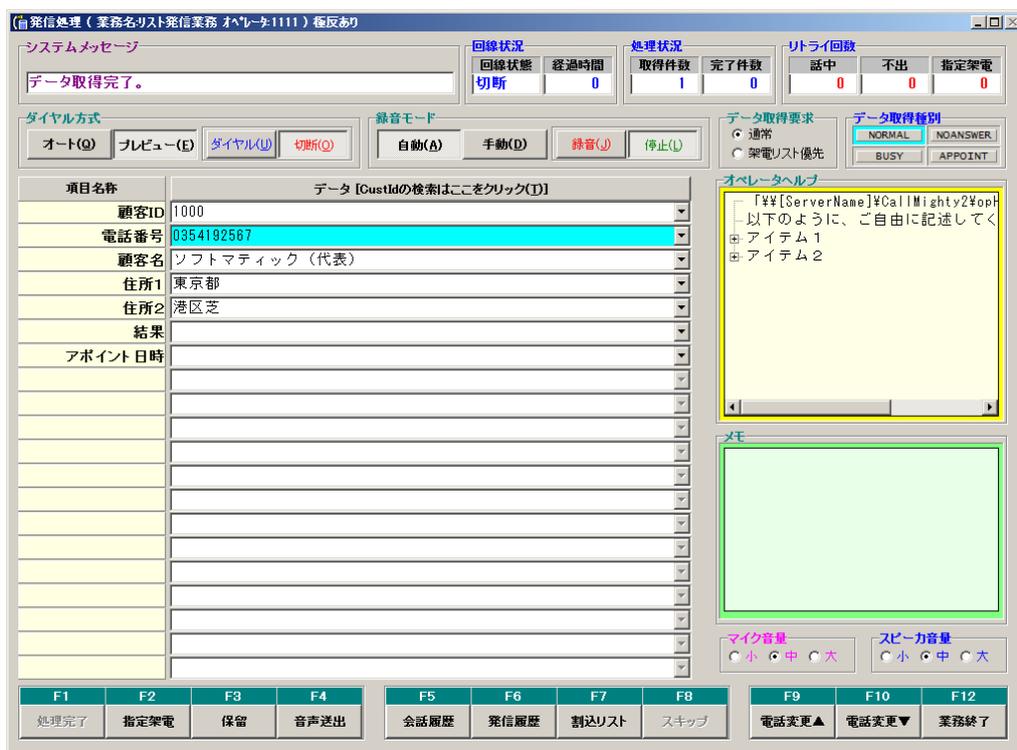
デスクトップ上の「CallMightyClient起動」ショートカットをダブルクリックで起動してください。



ログイン画面が表示されますので、業務コード、オペレータコード、パスワードを入力し、「ログオン」ボタンを押下してください。



下記のメイン画面が表示されましたら起動完了です。「ダイヤル」ボタンを押下して、電話発信ができるかお試しください。(当社代表にかかります。)



CallMighty II スタートアップガイド

発行:ソフトマティック株式会社
〒105-0014
東京都港区芝3丁目14-6磯島ビル2F

©Softmatic inc. All Rights Reserved.